

● 焼却灰混練施設

焼却灰の飛散防止、安定化を図るため、セメントと水を混ぜて混練灰にする東京都下水道局唯一の施設です。現在、処理された混練灰は、中央防波堤外側埋立処分場で埋立処分しています。

- 稼働 平成18年4月
- 施設規模 混練機 25t/時 3基



▲焼却灰



▲混練灰



▲混練施設

▲養生床

● 発電設備 (ガスエンジン)

森ヶ崎水再生センターから送られてきた汚泥の処理機能の安定確保を目的として、平成28年9月にガスエンジン発電機（発電出力7,800kW）を導入しました。



←発電設備

■南部スラッジプラント案内図



- 所在地 〒143-0002 東京都大田区城南島5-2-1
☎ 03-3799-1201
- 交通 東京モノレール「流通センター」またはJR「大森」駅
または京急「平和島」駅から京急バス「城南島循環」行「城南島工業」下車



下水道の役割や水環境の大切さを、楽しみながら学べる体験型施設です。

- 開館時間/9:30~16:30 (入館は16:00まで)
- 入館無料
- 休館日/月曜日(月曜日が祝祭日の場合は開館し、その翌日休館)、年末年始 ※夏休み期間は無し
- 所在地/江東区有明2-3-5 有明水再生センター5階
- ☎ 03-5564-2458
- ホームページ <https://www.nijinogesuidoukan.jp/>



下水道局との関係をお互に 悪質業者にご注意を!

下水道局では、宅地内排水設備の修理や清掃などを業者に依頼することはありません。

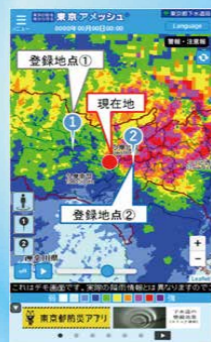
水再生センター見学受付窓口

土曜、日曜、祝日、年末年始を除いて、水再生センターの施設を見学することができます。ご予約・お問い合わせは見学受付窓口までお願いいたします。

電話番号 **03-3241-0944**
受付時間 **9:00~17:00(平日のみ)**

●東京アメッシュ

都内とその周辺地域で降っている雨をレーダーと地上雨量計で観測し、リアルタイムに表示するシステムです。



●下水道アドベンチャー

下水道についてのクイズに正解して、下水道マスターを目指そう。



●下水道局ホームページ

<https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/>



地域で育む水環境

南部スラッジプラント



南部スラッジプラントは、芝浦水再生センターと森ヶ崎水再生センターの水処理過程から発生する汚泥を処理しています。濃縮・脱水設備、焼却設備では汚泥の減量化を図るとともに全量を焼却処理しています。また、焼却灰を埋立処分するための焼却灰混練施設があります。

(令和5年4月現在)

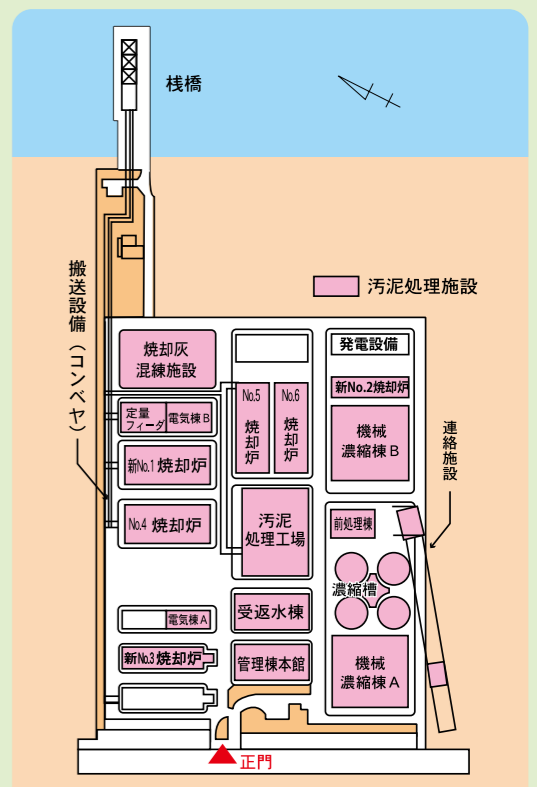
- 運転開始 昭和58年10月
- 敷地面積 72,013㎡
- 汚泥処理施設

汚泥濃縮設備 (重力濃縮槽)	2,450㎡	3槽
汚泥濃縮設備 (重力濃縮槽)	1,570㎡	1槽
機械濃縮設備 (遠心濃縮機)	150㎡/時	12台
(ベルト型濃縮機)	150㎡/時	3台
汚泥脱水設備 (遠心脱水機)	50㎡/時	12台
	60㎡/時	3台
汚泥焼却炉 (流動式)	300 t/日(脱水汚泥)	6基
- 焼却灰混練施設

混練設備 (混練機)	25t/時	3基
------------	-------	----
- 発電設備 (ガスエンジン)

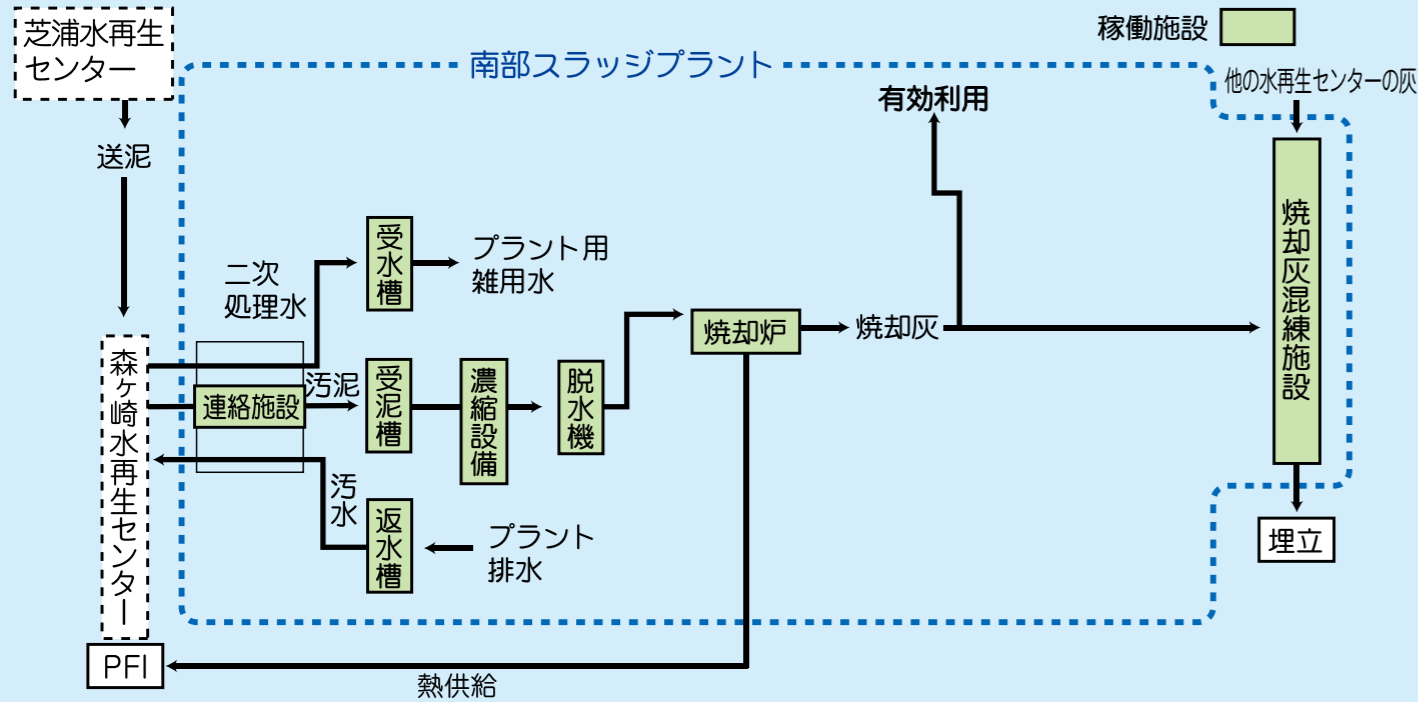
	7,800kW	1基
--	---------	----

●施設平面図



● 南部スラッジプラントにおける汚泥処理

森ヶ崎水再生センターから送られてきた汚泥は、プラント内で濃縮、脱水、焼却処理されます。焼却灰は可能な限り資源として有効利用し、有効利用されなかった焼却灰は、焼却灰混練施設に搬送され固化処理の後、埋立処分されます。



● 汚泥焼却炉

流動式焼却炉

脱水汚泥を800℃以上の高温で瞬時に焼却することで、脱水汚泥と比べて重量比で約4.5%の灰に減量化します。



▲多層燃焼炉（新3号炉）

- 稼働

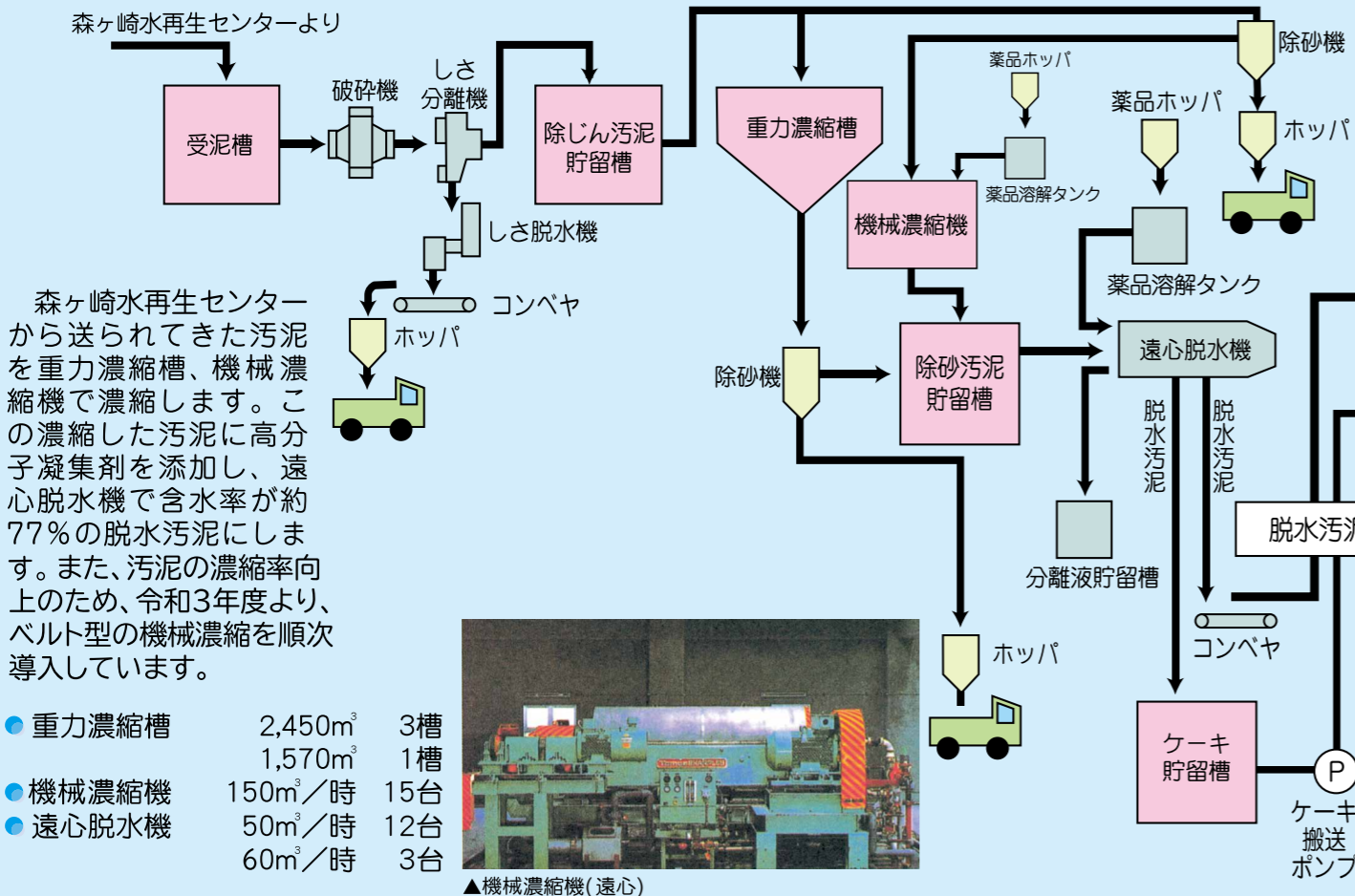
4号炉	平成 11年 4月
5号炉	平成 13年 4月
6号炉	平成 15年 4月
新1号炉	平成 17年 4月
新2号炉	平成 21年 10月
新3号炉	令和 元年 7月
- 施設規模

300t/日 (脱水汚泥)	6基
---------------	----

温室効果ガスの排出を抑制するために、平成16年4月から高温焼却を、平成21年4月から多層燃焼を実施しています。また、補助燃料を削減するため、平成27年4月から新1号炉に汚泥乾燥機を導入しました。

- ※ 高温焼却：焼却温度を上げることにより、温室効果ガスの一種である一酸化二窒素 (N₂O) を削減します。
- ※ 多層燃焼：高温焼却に比べ、高温領域を広範囲に形成するように改良し、一酸化二窒素 (N₂O) を削減します。さらに、補助燃料も減ってCO₂排出量も削減できる、汚泥焼却炉として世界初の技術です。
- ※ 汚泥乾燥機：焼却炉の排ガスを利用して脱水汚泥を乾燥することで、補助燃料を削減します。

● 汚泥濃縮設備・汚泥脱水設備



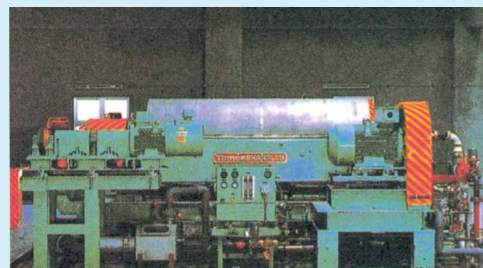
森ヶ崎水再生センターから送られてきた汚泥を重力濃縮槽、機械濃縮機で濃縮します。この濃縮した汚泥に高分子凝集剤を添加し、遠心脱水機で含水率が約77%の脱水汚泥にします。また、汚泥の濃縮率向上のため、令和3年度より、ベルト型の機械濃縮を順次導入しています。

- 重力濃縮槽

2,450m ³	3槽
1,570m ³	1槽
- 機械濃縮機

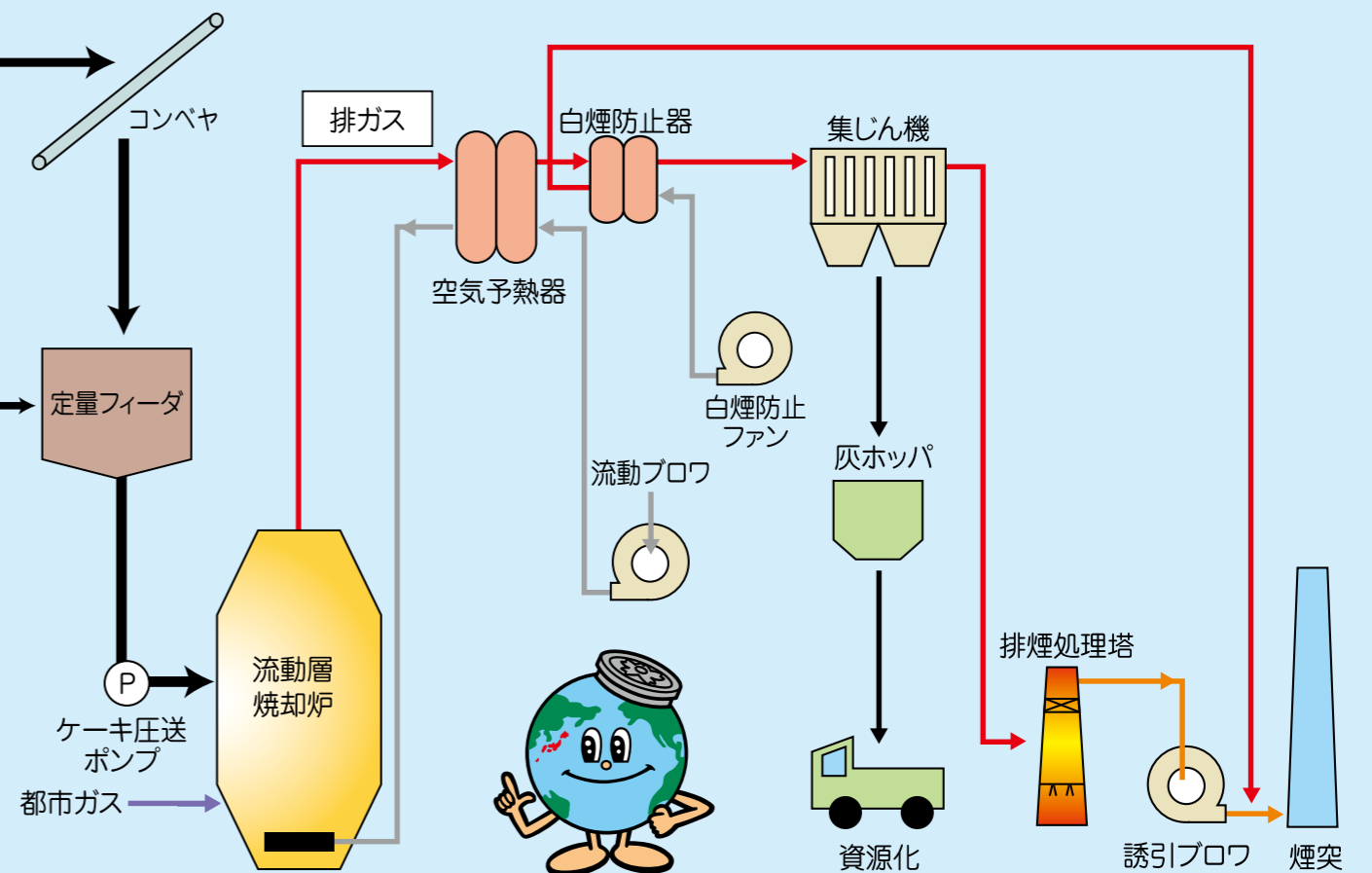
150m ³ /時	15台
----------------------	-----
- 遠心脱水機

50m ³ /時	12台
60m ³ /時	3台



▲機械濃縮機(遠心)

● 汚泥焼却設備



資源化

誘引プロフ 煙突